



やはり、図書館の仕事がしたい！

## 4年ぶりに戻った 図書館

町田市立中央図書館 吉岡一憲

「市役所に就職したのに、図書館しか知らずに定年まで過ごしてしまっただろうか」、「図書館の仕事以外にも楽しいと思える仕事があるかもしれないし、もっと自分に向いている職場があるかもしれない」、「とりあえず他の職場も経験してみて、やはり図書館の仕事がしたいと思えるのであれば、その時点でまた図書館に戻ってきたい」。

そんな思いから、私は他部署への異動を希望し、2003年4月、入職以来18年間に及んだ“図書館員生活”を終え、初めての異動を経験しました。

異動先は市民部国保年金課国民年金係というところでした。ここでは主に、国民年金加入の手続きや年金保険料の納付免除にかかわる事務などを行っていました。このときは、新しい仕事を覚えるというのが18年ぶり(!)の経験だったので、そのことが何より大変でしたし、また初めての本庁(市役所)勤務ということで、その雰囲気慣れるのにも苦労しました。

国民年金係で2年間を過ごした後、今度は、総務部職員課安全衛生係に異動になりました。ここでは、職員の労働安全衛生、とりわけ公務災害に関わる事務を行っていました。ここでも覚えなければならないことがたくさんあり大変ではあったのですが、それよりも、それまでの20年間、市民に対するサービスしか経験してこなかった中で、「職員のために仕事をする」ということが非常に新鮮に感じられました。

そうした中で今年の秋くらいからでしょうか、「図書館に戻りたい」という気持ちが徐々に強くなってきました。これについては、何か特別なきっかけがあったということでもなく、安全衛生係の仕事が嫌になったというわけでもない(むしろ色々なことを経験する中で極めて重要な仕事だと感じていた)のですが、そういうこととは別に、図書館から離れている期間が長くなるにつれ、「自分はやはり図書館の仕事が好きだったんだ」と感じられるようになり、「これまでの経験を活かして、もう一度図書館で頑張りたい」という思いが強くなっていったのです。もちろん、この間、親しい図書館職員たちから(「すすめる会」の会員の方からも)「早く図書館に戻ってきてほしい」と言ってもらったことも大きかったし、また、ちょっと格好をつけるなら、委託の導入や指定管理者制度への移行など図書館を取り巻く状況が全国的にどんどん厳しくなっていく中で、そうした状況に対して何らか力を尽くしたいという思いがあったことも事実です。そうした理由から、「今すぐでなくても、いずれ復帰できれば」との思いで異動希望を出したところ、たまたまそれが叶えられ、今年4月、4年ぶりに図書館に復帰することとなりました。

上記のような経緯で図書館に戻ってきたのですが、戻ってみて「4年のブランクは思っていた以上に大きかった」ということを痛感させられました。とりわけ大きかったのが、私の異動後にコンピュータシステムが変わったことで、復帰当初は機械の操作がわからず、加えてこれまでほとんど体験したことのない4階メインカウンターの担当になったこともあり、カウンターでオロオロするといったこともしばしば(実は今でも...)。また、今回配属になった図書整理担当の業務も初めて携わる仕事で、これについても、いまだに戸惑っているような状態だったりします。さらに、大きなことで言えば、先にも述べたように図書館を取り巻く状況が全国的に厳しくなる中で、町田の図書館でもどこまで直営を守っていけるのかという大きな課題があります。また、専任職制度も病院図書館の取り扱いについてもその後の進展がないままになってしまっていますし、数多くいる嘱託職員の仕事のあり方についても、きちんと考えていかなければならない時期に来ています。

と、以上述べてきたように、規模の小さなものから大きなものまで課題山積で、そういう意味では前途多難なわけですが、でもそうは言いつつ、希望して戻った職場でもあり、そこで好きな仕事ができているわけで、その喜びを噛み締めつつ、町田市立図書館の発展のために頑張っていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。(会員)

## 町田の学校図書館を考える会 2007年度総会 & 集いの会 を行う

6月30日(土)午後、中央図書館ホール／ 出席：市川、上平、清水、谷釜、伴、増山、水越  
総会では、2006年度活動、会計決算の報告のあと、2007年度活動計画、2007年度世話人選出について話し合い引き続き学校図書館の集いを行いました。

### 2006年度活動計画

○子どもの本連続講座を開催

第1回(9/23)「ブックトークを楽しもう」

第2回(10/3)狛江市立第三小学校図書館見学

第3回(10/28)フリーディスカッション

第4回(11/25)「科学遊び&かんたん工作」

第5回(3/25)交流会

○その他の活動

・中教研主催の三鷹第六中学校図書館見学に参加(11/21)／  
・神奈川県立川崎北高校図書館見学(司書は元会員の田村さん)(12/13)／

・5月に学校図書館実態調査アンケート作成

○他機関との交流

・市議会議員吉村さんと懇談(5/6)／  
・中央図書館渡辺さんと団体貸し出しについて懇談(10/28)

### 2007年度活動計画

○学校図書館充実のための活動として、学校図書館実態調査アンケートの集計報告を行い、集計結果に基づいた要望書を提出する。

○連続講座の開催(高校司書の田村さんの図書館改造論／アニメーションの実践などを予定)

○その他、講演会を企画、開催する。

### <集い>

初めに「学校図書館実態調査アンケート」の集計中間報告を行いました。ご協力くださいました先生、指導員の方々ありがとうございました。予想以上の高い回収率で、アンケート最後の自由記入欄には様々な要望、意見が記入されていて、指導員の方々が日々悩みながらも頑張っておられる姿が垣間見られました。詳細は集計完了後にご報告すると共に、今年度も行う予定の連続講座の中にアンケートにあった要望や意見を活かしていきたいと思っております。

### 2007年度世話人選出

代表：伴 紀子

副代表：水越 規容子・市川 博子

会計：清水 陽子

ご協力よろしくおねがいします

	町田市の夏休み課題図書	作者	絵	出版社
低	ぼくの町に電車がきた	鈴木まもる	鈴木まもる	岩崎書店
	ステラのえほんさがし	リサ・カンベル・エルスト		童心社
	ハエくん	グステイ	グステイ	フレーベル館
	おじいちゃんちでおとまり	なかがわちひろ		ポプラ社
	ぞうのオリバー	シド・ホフ	シド・ホフ	偕成社
	みんなのきもち	村上しいこ		学習研究社
	のんきなりゅう	ケネス・グレアム		徳間書店
	どっちがどっち	高岡昌江	高岡昌江	学研
	モコモコちゃん家出する	角野栄子	にしかわおさむ	クロンハウス
	雲をみようよ	トニー・デ・パオラ	トニー・デ・パオラ	光村教育図書
高	お手紙レッスン	D. J. ルーカス	トニー・ロス	あすなる書房
	GOLD LUSH! ぼくと相棒	シト・フライシュマン		ポプラ社
	クロリスの庭	茂市久美子		ポプラ社
	ケイゾウさんは4月がきらいです	市川宣子		福音館書店
	ソルビム お正月の晴れ着	ペ・ヒョンジュ	ペ・ヒョンジュ	セーラー出版
	ルリユールおじさん	いせひでこ		理論社
	カミさま全員集合!	内田麟太郎	山本孝	岩崎書店
	日本の材木 杉	ゆのきようこ	ゆのきようこ	理論社
	南極のコレクション	武田剛		フレーベル館
	りんご 津軽りんご園の1年	かのうちたくや	かのうちたくや	福音館書店

今回のつどいでは上平先生に、本町田小学校図書館での実践などをお話していただきました。調べ学習の場合、小学生でもパソコンを使いたがるが、パソコンでは子ども向けのサイトが少ない上、膨大な量の情報の中から必要な事柄を探すのが大変であるということ、本で調べるよう(1テーマに3冊は使うよう)指導しておられるとのことでした。また、学年の初めにオリエンテーションを行い、図書館の基本的な利用法を説明しており、その際、クイズを使ったりよりわかりやすい方法を工夫しているとのことでした。

指導員の多くが調べ学習の支援法を求めていることや、調べ学習で使った資料や作品を教えてほしいという声があがりました。中学の指導員の方からは、中学では小学校とは事情が違っているので調べ学習(総合)の時間に学校図書館を使うのは無理という報告もありました。

また、小教研の活動として児童書の展示会場を教育センターなどに設置することを市教委に提案しているそうです。指導員にとっても大変参考になりますので、是非、実現してほしいと

思いました。

増山さんからは、フランスでは、先生が子ども達をクラスごと連れて近くの図書館に出向くとか。司書が先生や子どもたちに図書館の使い方を教え、おはなし室でストーリーテリングを行っているとのこと。社会文化に関するすべての活動が、アニメーション魂を活性化させて、事、物に取り組み一として国策で行われており、図書館の活動は全てアニメーションとして位置づけられているとか。資料にしても、あらゆるものから情報を得、例えば、テーマごとに切り抜きをした新聞記事を引き出しに入れて活用するという。

最後に、町田の学校図書館を考える会のこれからの課題として、実際に活動に携わっている会員と賛助会員をより明確にして連絡の体制を整えること、新しい会員を集めるため地道に声を上げていくことを確認し、終了しました。

(伴 紀子)

## 中学校図書館でブックトーク

# てがみ

水越規容子



夏休み前の国語の時間を使って中学校図書館でブックトークをしました。対象は1年生。

紹介した本は以下の通りです。

- ◆ 博物誌 (ルナール・作/新潮文庫)
- ◆ 寺山修司詩集 (ハルキ文庫)
- ◆ ポプラの秋 (湯本香樹実・作/新潮文庫)
- ◆ 空色の地図 (梨屋アリエ・作/金の星社)
- ◆ トモ、ぼくは元気です (香坂直・作/講談社)
- ◆ 世界がもし 100 人の村だったら (池田香代子, D・C・ラミス/マガジンハウス)
- ◆ ハトの大研究 (国松俊英・作/PHP)
- ◆ 秘密の手紙 0から10 (S・メルゲンステルン・作/河野真理子・訳/白水社)
- ◆ おかあさん げんきですか。(後藤竜二・文/武田美穂・絵/ポプラ社)
- ◆ 野ロシカの手紙 (理想の国語教科書/斉藤孝・編/文芸春秋)

ブックトークのテーマは伏せたまま『博物誌』から「蝶／二つ折りの恋文が、花の番地を探してる。」、『寺山修司詩集』から「つきよのうみに／いちまいの／てがみをながして／やりました／つきのひかりに／てらされて／てがみはあおく／なるでしょう／ひとがさかなと／よぶものは／みんなだれかの／てがみです」を読んでテーマを当ててもらおう。

これは簡単、すぐ「手紙」と返ってくる。

みなさんはよく手紙を書きますか？ 年賀状は書くという返事。でもこの少女の気持ちになったらみんなも手紙を書きたくなるかもしれません。『ポプラの秋』の主人公は 10 歳くらいの女の子、アパートの大家のおばあさんがなんと「私はあの世への郵便配達人なんだよ」なんて言うんです。突然の事故で亡くなってしまったお父さんに、少女は手紙を書き始めます。手紙を書くことで少しずつ癒されていく少女と周りの人々の交流が温かい本。

あの世への手紙も不思議だけど、こちらの少女が受け取った手紙もちよつと不思議なんです。ある日差出人のない手紙が届きました。開けてみると「未来のわたしへ、げんきですか…」とへたくそな字で書いてある。よく見るとその癖のある字は確かに私のもの。でもいつ書いたんだろう、そしてどうして今頃届いたんだろう、と紹介するのが『空色の地図』。こちらの主人



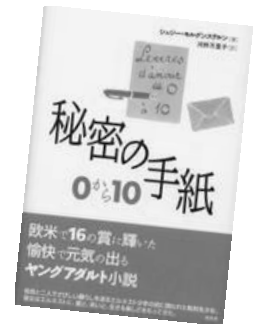
公もひと夏を大阪のおばあちゃんの家で預けられることになってしまいました。実は夏休み前にちょっとした事件があったんです、それは・・・と紹介するのが『**トモ、ぼくは元気です**』。障害を持った兄への複雑な思いやジレンマを少し話す。商店街対決の「金魚すくい」のことも。



さて、手紙を書かないといった人もパソコンやケータイでメールはしているんじゃないかしら。ある人が友人達に送ったメールがたくさんの人々の共感呼び、次から次へと書き加えられ転送され、それがやがて一冊の本になりました、と『**世界がもし100人の村だったら**』を紹介、最初のさわりを読む。簡潔な言葉でまとめられた世界の現状、貧困や飢餓の問題に少しでも関心を持ってほしい。



最新の手紙がEメール、じゃ江戸時代はどんな風に送られていたのと質問。飛脚と返事。他に手段はない？と尋ね、出ないと「みんなの好きなハリー・ポッターでは手紙は誰が運んでるの？」「ふくろう便」、と出たところで「伝書鳩」も出てくる。伝書鳩っていつ頃からあったか知ってる？ この本にちゃんと書いてあるんです、なんと紀元前3000年古代エジプト人がもう使っていたんですって、と『**ハトの大研究**』を紹介。特に戦時中この伝書鳩が確実な通信手段として利用されたことを話す。



戦争中に送られてきた読めない手紙を大切に保管しているおばあさんのもとで暮らす男の子の話『**秘密の手紙0から10**』を紹介、まるで隠遁生活のようなエルネストの世界にある日突然元気のいい女の子が転校してきて、世界がどんどん広がっていく様子をちょっと話す。

最後に手紙を2つ読みます、1つはきつとみんなも書いたことのある手紙です、と読み聞かせするのが『**おかあさん げんきですか。**』の絵本。最後の絵までしっかり見せると、生徒は「なんだ全然違うじゃん」とホッとした様子。今度はお母さんから息子へ宛てた手紙です、書いた人は「野口シカ」といいます、だれでしょうね。少しヒントを出すとすぐ「野口英世」と返る。直筆になる手紙のコピーを見せ、どんなに字が下手でも、文章が下手でも、これを読むとお母さんの切々たる思いが伝わり胸を打つ、と話す。



実際は40分を使っただけのブックトークなのでもっと粗筋などを話しているのですが、おおよその構成を紹介しました。（中学校図書指導員会員）



<例会>6月29日(金)  
13:00~16:30  
於・中央図書館中集会

出席/伊藤、川野、久保、片岡、中山、  
前島、増山、丸岡、桃澤、

## ● 会のこれからを考える

### ○会員状況

個人会員 30名/団体会員 6団体 (自治労町田市職員労働組合/NPOまちだ語り手の会/かえで文庫/藤の台子ども文庫/野津田雑木林の会/しぜんの国こども図書館)

○他団体加入 (としょかん文庫・友の会/図書館九条の会/ 図書館友の会全国連絡会)

#### ① 会員について

現況、定例会に出席できる会員が少ない。会員全員にアンケートをとり、今後は会員と賛助会員の区分けをしては?

・会員一例会にも出来るだけ出て、活動にも参加する。連絡網にも入る。

・賛助会員一例会、活動には参加は難しいが会の主旨には賛同し、会費納入・会報も読みたい。

(⇒メールアドレスを持っている人にその旨を通知しましたが、余り会には出られないけれど、賛助会員ではなく、会員で在籍したいとのお返事を一人だけからいただきました。会報を読んでくださっている一般の方で、会の活動には参加できないが、会費 1,000 円を払って賛助会員になり図書館をサポートしようと思われる方、どうぞ、事務局までFAXを!)

#### ②定例会について

・ 昼間の仕事をもっている方、ならびに図書館職員の方も出席出来るように7月からは例会を18:30~21:00 に行います。(会報の折込作業等は17:00~)

・次回以降の定例会は7/25(水)、9/26(水)

・会の活動を宣伝できるリーフレットを作り、会員を増やすことをこころがける。

・交流会や勉強会を開き会員募集も!

### ●夏休み特別企画について

・7月29日(日)夏休み特別企画「ビデオとワークショップ」  
「からむしと麻」「からむしから糸を作って遊ぼう」/当日スタッフは12時集合(6階ホール)/受付ではワークショップ参加整理券(50枚)を配る。  
ハマグリ、殻、はさみ、エプロン持参。

### ●学習会をスタート

・次回からは夜の例会となる。市民が主体的に関わっている図書館の事例(「静岡の市民運動の図書館政策作り」等)を参考に学習会をする。

## 町田市民文学館 第4回文学サロンでたのしむ 「大人のためのおはなし会」

8月16日(木)10:30~11:30 2F大会議室

### プログラム

おぼまこと作品から『ごめんね ムン!』

「おこりじぞう」(山口勇子作)

「ひとつの花」(今西祐行作)

「あるハンノキのはなし」(今西祐行作)

直接会場へどうぞ!

例・図書館委託問題 ・学校と図書館の連携  
・町田市の図書館 10館構想 病院患者図書館  
\*訂正とお詫び:前号4P久保令子は礼子の誤りでした。

### お知らせ

★「かみしばいがやってきた」8/24(金)①10:00~12:00(小さい子向け) ②13:30~15:00(大きい子向け) /町田市民文学館 ☎042-739-3420

★インドネシアのいやしの楽器「アングルン」を合奏しよう! 参加型演奏会 / 8/9(木)14:00~15:00/幼児~参加可能 当日150人先着順/町田市立博物館

☎042-726-1531

★「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」(広島市平和祈念資料館所蔵)展示 / 8/5(日)~15(水) 9:00~17:00 /町田中央公民館

★地人会公演朗読劇「この子たちの夏—1945・ヒロシマ ナガサキ—」8/5(日)14:30~、18:30~/立川市民会館アミューたちかわ小ホール/¥2000/問:キュービッドワタナベ ☎042-500-0188

★ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会 / 8/11(土)①11:00~②13:45~③17:30~/多摩市立永山公民館5F ベルブホール(永山駅歩3分)前売り券¥1000(18歳以下¥500)/多摩平和イベント実行委員会

(090-4179-2632) 参照HP

★親地連第16回全国交流集会「これからの子ども・本人出会いづくり」/9月29日(土)・30日(日)/国立オリンピック青少年センター(小田急線参宮橋下車徒歩10分) /記念対談:松岡享子氏&広瀬恒子氏、他、夜の交流会/30日4つの分科会等/全日参加¥5,000(宿泊込み)一日¥2,000(申込開始 定員300名 図書館にチラシをおいてあります。

(問:事務局 増山 042-722-1243)

### あとがき

図書館に関心を寄せる多くの人たちに参加してもらえるようにと、会の刷新を図って、今月より例会を夜に開く。図書館運動を最優先してくれる人に未来を託してという目論見が、それだけで叶えられるとは思わないが、空気が少しは変わるだろう。魅力的な楽しい会にするために...! (M<sup>4</sup>)